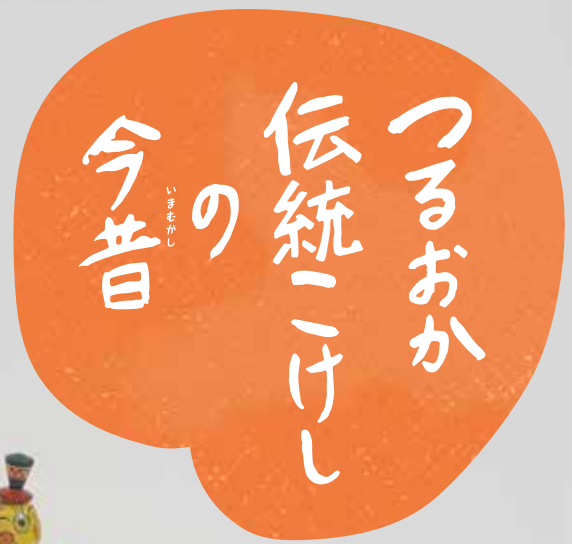


シリーズ第18回となる今回は、民衆に広く親しまれた工芸分野のひとつである「伝統こけし」について、現在の鶴岡市にあたる地域で活動していたこけし工人の作品を紹介し、今日に至るまでの様相を辿ります。

つぶらな目や胴の上部に描かれるアーチ状の装飾が印象的な阿部常吉や阿部進矢のこけしは、土湯に生まれ、蔵王高湯や山形を經由して温海温泉に移住し、鶴岡で最初にこけしを広めた阿部常松の型を継承したものです。秋山慶一郎や秋山一雄のこけしは、どっしりとした太い胴や華やかな描彩が特徴で、慶一郎のルーツである鳴子と蔵王高湯両方の影響がうかがえます。

そのほか、修行先の鳴子で学んだ様式で繊細な筆致のこけしを作った本間留五郎や、60歳を前にして青森の工人に弟子入りし、素朴な表情と簡素な胴模様のこけしを制作している五十嵐嘉行などを加え、それぞれに来歴もこけしの容貌もバラエティに富んだ、物故工人や現役工人のこけしや木地玩具を一室に会して紹介します。



左から、秋山一雄 姫だるま／五十嵐嘉行 えじこ／阿部進矢 えじこ／阿部進矢 のんきな父さん／阿部常吉 だるま

関連企画① **ギャラリー・トーク**

当館学芸員が会場を案内し、作品解説を行います。

日時 ■ 2月11日(土)
①10:00～②14:00～
(各回30分程度)

定員 ■ 各回10名

関連企画② **ゲスト・トーク**

**コレクターが語る
温海こけしの魅力と
収集の楽しみ**

本展にご出品いただいた鶴岡市藤島のコレクター石黒清一氏をゲストに、展示会場と一緒に回りながら、コレクションの要である温海の阿部進矢工人のこけしの魅力や収集の経緯などについてお話いただけます。

日時 ■ 2月19日(日)
14:00～(30分程度)

定員 ■ 20名

関連企画③ **ゲスト・トーク**

**阿部進矢工人に聞く
こけしづくりの
よもやま話**

本展出品工人の阿部進矢さんをお招きして、展示会場と一緒に回りながら、制作に関することやこけしづくりの思い出などについて教えてください。

日時 ■ 2月25日(土)
14:00～(30分程度)

定員 ■ 20名




鶴岡アートフォーラム
TSURUOKA ART FORUM

〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町13-3
TEL: 0235-29-0260 (代表)
FAX: 0235-22-6051
URL: <https://www.t-artforum.net>
E-mail: info@t-artforum.net

※お車で越しの際は、荘銀タクト鶴岡、公園中央駐車場が最寄です(無料)

アクセス ■自動車: 高速山形自動車道・鶴岡 ICより、鶴岡市役所を目指して約10分 ■バス: JR 鶴岡駅より「052 系統 市内循環 Aコース 左回り」、「053 系統 市内循環 Bコース 右回り」、「055 系統 市内循環 Cコース 右回り」、「032/033/034 系統 湯野浜温泉行」、「061 系統 あつみ温泉方面行」のいずれかに乗車→[市役所前] または [鶴岡アートフォーラム前] バス停で下車

ご来館の際には感染症対策にご協力をお願いいたします。また、感染症の拡大防止により、変更または中止となる場合がございます。最新情報と詳細については随時当館ホームページなどでご案内いたしますので、何卒ご了承ください。



出品工人 ■阿部常吉(あべ・つねきち) [明治37年ー平成3年] ■阿部進矢(あべ・しんや) [昭和12年ー] ■秋山慶一郎(あきやま・けいいちろう) [明治23年ー昭和39年] ■秋山一雄(あきやま・かずお) [昭和10年ー平成3年] ■本間留五郎(ほんま・とめぐろう) [明治42年ー昭和49年] ■五十嵐嘉行(いがらし・よしゆき) [昭和2年ー] ■大滝武寛(おおたき・たけひろ) [明治15年ー昭和12年] ■軽部留治(かるべ・とめじ) [明治23年ー昭和15年] ■志田菊宏(しだ・きくひろ) [昭和34年ー] (岡村豊太郎、阿部金治郎、大滝武寛、軽部留治、竹野銀次郎の復元型を展示)